

住人十色

第
189
回



◎9月22日の練習に集まった皆さん。太鼓を叩いて世間話をして、楽しい時間はあっという間

「雛に行けば、みんながいる」—— 心でつながる和太鼓仲間が節目の20周年

和太鼓サークル「^{ひなだいこ}雛太鼓」の皆さん

今年で結成20周年を迎えた和太鼓サークル「雛太鼓」。年4回ほどある演奏会では、代表曲『雛太鼓』『おまつり』などの迫力ある演奏で観客を沸かせています。メンバーは約20人で8割を女性が占めます。太鼓を叩きたくて仕方ない人、町で誘われた人、親と一緒に来た子どもなど、集まった経緯はさまざま。未経験者が多いグループですが、メンバーは「みんな褒め上手。うまくいなくても『できるじゃん』『若いんだから大丈夫』と乗せられて。演奏会に出ない、という選択肢はない」と笑います。宮内純子さんは「入った2カ月後にいきなり、結成10周年記念公演『内鼓座雛まつり』の大舞台に。今思えばえらいこと」と振り返ります。

「頑張り過ぎず、まずは太鼓を楽しむ場所でありたい」と話すのは、結成当初からのメンバーの多比良雅美さん。「仕事や結婚、出産、育児——叩けないときはみんなある。ここは休むのも戻るのも自由で、みんな家族のように温かい。私も赤ちゃんを連れてきたとき、みんながベビーカーを押してくれたな」と懐かしみます。仲間たちが「心の住処」と呼ぶ雛太鼓について、多比良さんは「子雛、孫雛まで続いたらいいですね」とほほ笑みました。

編集 幸記

▽雛太鼓の皆さんの撮影、ポーズをお願いせずともバッチリ決まる一体感がすごいです。インタビューでは話が止まらず、走り書きのメモは何て書いたか読み取れません。楽しい時間をありがとうございました(史)

▽伝統芸能まつりの取材時、宜野座村の獅子舞に心打たれました。モコモコの見た目で愛嬌があつて、でも動きはアクロバティック。思わずカメラを忘れて見入ってしまいました。最近のマイブームはユーチューブで獅子舞動画を見ることです(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

